

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	長野市	ふりがな 箇所名	(主)戸隠篠ノ井線 <small>とがくしののいせん</small>		ひせごみょう 布施五明		事業年度 <small>(完了年度は見込み)</small>	H24年度～	H25年度		
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路改良工 L=200m W=5.5(10.5)m					H23年度末事業進捗率	0%			
	H24年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%			
	H24年度実施内容	物件調査・用地補償 一式					用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費		H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残				
財源内訳	事業費計(千円)	110,000		0	0	10,000	110,000				
	国庫支出金	0		0	0	0	0				
	その他										
	県債	99,000		0	0	9,000	99,000				
	一般財源	11,000		0	0	1,000	11,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	(30)	必要性	計画交通量	4,000台/日以上		1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満		A	4	
			代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある		0			
		ネットワーク <small>(道路網)</small>	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線		A及びBに該当しない			5	
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない					4	
			観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない					2	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅 員)		5.5m以上(幅員)			4	
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る		歩道はあるが不十分で あるものを再整備		自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない			4	
	他事業との関連	河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施						10			
	小計								30		
(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い		環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い		環境・景観配慮をしてい ない		3		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている		特別な位置づけはない		3		
	小計								6		
(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上		B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)		B/C(3便益)1.0未満		5		
		事業効果の早期発現 <small>(H24以降残事業年数)</small>	事業年数 3年以内		事業年数 4年～5年以内		事業年数 6年以上		8		
		コスト削減	全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。		部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。		コスト削減はしていない		7		
	小計								20		
(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる		交通事故や落石等の危険が ない		6		
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)		医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)		医療・福祉の連携に関係 ない道路		6		
	小計								12		
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い		市町村からの要望		特に要望がない		7		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		特に周知していない		5		
	住民参加の状況	住民参加の状況	住民が計画策定に直接 参加		住民や市町村の意見を 計画策定に反映		特に住民意見は反映し ていない		4		
		小計								16	
費用対効果(B/C)		2.1		評価の合計			A		84		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は地域の生活道路となっているとともに、篠ノ井と戸隠を結ぶ重要な路線である。現道は幅員狭小、線形不良のため乗用車同士のすれ違いが困難な状況であり、生活の支障となっている。									
	地域からの要望経緯	戸隠篠ノ井線改良促進既成同盟会から、毎年要望活動が行われている。									
	事業説明等の経緯	過去再三にわたり、事業計画説明会を実施。									
	環境・景観への配慮項目	法面は在来種により、復元する。									
	他事業・プロジェクトとの関連	岡田川河川改修事業									
特記事項	特になし。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	現道は幅員狭小のため乗用車同士のすれ違いが困難な状況である。地域からの要望もあるため、早期に生活道路としての安全確保を図るため、H24年度から事業化をしたい。			政策評価課 意見	必要性が認められる。						